

欠席連絡等アプリの導入

背景・課題

- ・児童生徒の欠席連絡が朝の始業前に集中し、授業の準備に十分な時間を確保できない。
- ・新型コロナウイルス感染症対策における体温チェックと集約に多くの時間を要している。
- ・学校からの手紙配付や欠席連絡のデジタル化については保護者の要望も多い。

事業内容

● 欠席連絡等アプリの導入を検討

(例)

- ・保護者からの児童生徒の欠席連絡や健康状態(体温)の連絡
- ・学校からの手紙配付
- ・学校からの懇談等の出欠確認アンケートと保護者の返信機能

【導入校の声】

- ・朝の電話対応が減り、落ち着いて業務に取り組めるようになった。
- ・健康観察の確認にかかる時間が減り、集約面でも一元管理で便利になった。

欠席連絡等アプリ導入のイメージ

保護者
38.3℃・咳・欠席



メッセージ・PDFファイル



学校



大阪一郎
38.3℃・欠席

担任



学級情報の閲覧
お手紙の作成

採点支援システムの導入

背景・課題

採点業務については、教職員の手採点によるもので紙テストを一人ずつ繰り返しながら採点を行い、採点後は合計点や観点別の得点等も一人ずつ計算を行うため、採点業務が教員の負担となっており時間外勤務の発生やこどもと向き合う時間が取れないなどにつながっている。

事業内容

- P C 上でデジタル採点を行う採点支援システムの導入を検討
- ・答案用紙をスキャンし、P C 画面上で採点を行うことで、採点・集計をデジタル化し、採点業務時間を削減（選択式や簡単な記述回答は自動採点）
- ・クラス単位や児童生徒の成績が自動集約され、単元別・観点別の分析が可能となり、児童生徒・保護者へのサービス向上を目指す。
- ・採点業務時間を大幅に短縮できることから、本来の業務である教材研究や授業等に専念できる環境を提供することができる。

【導入校の声】

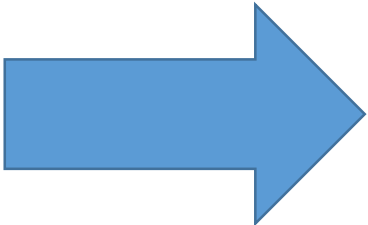
- ・採点後、自動で集計データが出力されるため、点数計算ミスがなくなった。
- ・ひとつの問題を一度に採点できるので、採点基準に迷うことがなくなった。

採点支援システムのイメージ

テスト終了後、スキャンにより答案を取り込む。設問ごとに全生徒の回答が表示されるので、設問ごとに採点・添削

学年	1	組	1	番号	1
氏名	●●	●●			

1	(1)	①	ア	(2)	イ	(3)	ウ
	(2)	①	ア	(2)	イ	(3)	ウ
	(3)		大阪市				



模範解答

(3)	1 年 1 組 1 番	1 年 1 組 2 番
大阪市	大阪市	大阪市
1 年 1 組 3 番	1 年 1 組 4 番	1 年 1 組 5 番
✓ 大阪	✓	大阪市